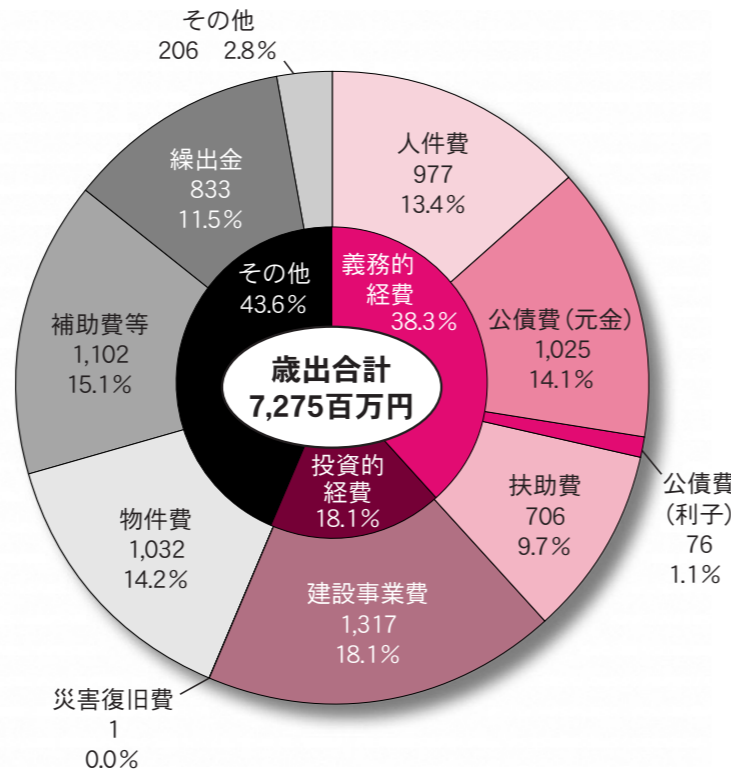


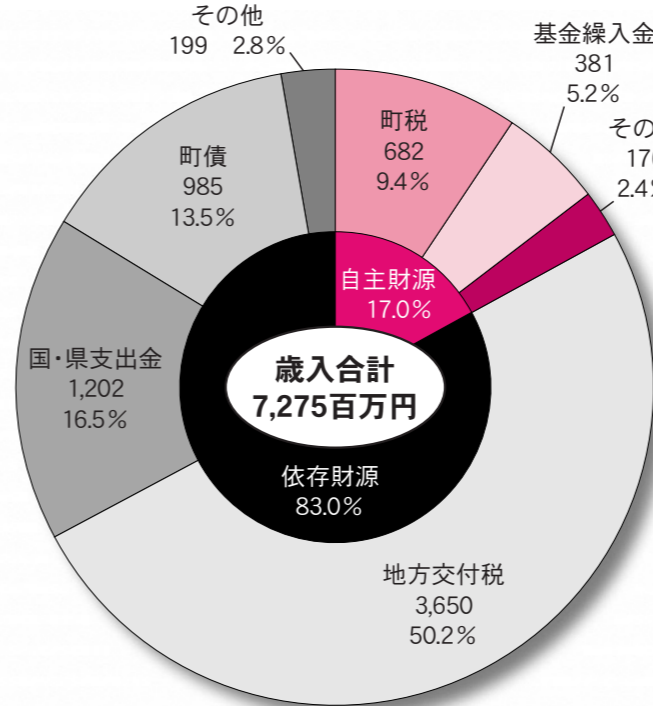
平成30年度当初予算の概要をお知らせします

一般会計当初予算72億7,500万円

◆一般会計の概要～性質別歳出～◆



◆一般会計の概要～歳入～◆



用語解説

- 人件費** 議員報酬、職員給料などの経費
- 公債費** 町が借入れた借金の返済のための経費
- 扶助費** 高齢者、児童、障害者などを援助するための経費
- 建設事業費** 農道、町道、学校などの公共施設を建設するための経費
- 災害復旧費** 異常気象などにより被害を受けた公共施設などを修復するための経費
- 物件費** 施設維持管理のための電気料、委託料や一般事務のためのコピー代などの経費
- 補助費等** 一部事務組合への負担金や各種団体への補助金などの経費
- 繰出金** 国民健康保険の医療給付、介護保険のサービス給付、上下水道の維持管理などのために一般会計が負担する経費
- 義務的経費** 町の負担が義務付けられている経費で、人件費、公債費、扶助費がこれにあたります
- 投資的経費** 道路や学校などの公共施設の整備など、社会資本として将来に残るものの整備経費

用語解説

- 一般会計** 第1次産業や観光の振興、教育や福祉、土木や消防など、町の基本的な仕事をするための会計です。
- 特別会計** 一般会計と区別して特定の事業を行うための予算で、保険料や使用料などの特定の収入でまかなわれ、「国民健康保険事業」や「下水道事業」などがあります。
- 町税** 町が徴収している町民税、固定資産税、軽自動車税、たばこ税など
- 基金繰入金** 町が特定の事業を行う場合や歳入不足に対応するための財源として基金(貯金)を取り崩すもの
- 地方交付税** 国の税金(所得税、法人税など)の一部が町に配分されるもの
- 国・県支出金** 町が特定の事業を行うために、国や県から交付されるもの
- 町債** 町が事業を行うための資金として長期で借入れる借金のこと
- 自主財源** 町税や基金繰入金などの町が独自に調達できる財源のこと
- 依存財源** 地方交付税や国・県支出金などの国・県により割り当てられる財源のこと

◆特別会計予算◆

(単位:千円、%)

会計	平成30年度	平成29年度	伸率	
国民健康保険事業特別会計(事業勘定)	1,354,100	1,822,300	▲ 25.7	
国民健康保険事業特別会計(直診勘定)	233,300	923,700	▲ 74.7	
後期高齢者医療特別会計	121,000	112,200	7.8	
介護保険特別会計	1,496,200	1,507,200	▲ 0.7	
訪問看護ステーション特別会計	12,600	10,500	20.0	
下水道事業特別会計	227,200	374,900	▲ 39.4	
財産区特別会計	1,300	600	116.7	
水道事業会計	収益的収入	445,791	459,908	▲ 3.1
	収益的支出	445,180	459,592	▲ 3.1
	資本的収入	0	16,500	皆減
	資本的支出	217,241	194,077	11.9

◆基金(貯金)と町債(借金)◆

(単位:千円)

基金(貯金)	平成30年度末残高(見込)	平成29年度末残高(見込)	平成28年度末残高(見込)
財政調整基金	1,913,885	2,163,001	2,262,274
減債基金	390,750	390,710	390,670
合併振興基金	546,543	618,768	746,685
その他特定目的基金	137,606	183,727	195,260
計	2,988,784	3,356,206	3,594,889

(単位:千円)

町債(借金)	平成30年度末残高(見込)	平成29年度末残高(見込)	平成28年度末残高(見込)
一般会計	9,202,429	9,243,180	9,242,601
国民健康保険事業特別会計(直診勘定)	693,913	694,965	7,406
下水道事業特別会計	1,498,685	1,516,626	1,459,317
水道事業会計	2,630,401	2,796,069	2,954,863
計	14,025,428	14,250,840	13,664,187

平成30年度の当初予算が3月町議会定例会で成立しましたので、その概要と特徴をご紹介します。
一般会計の歳入歳出予算は72億7,500万円となりました。歳入においては、合併算定替えの段階的縮減の継続や国の地方財政計画などにより、地方交付税の減額が見込まれます。歳出においては、公共施設の整備や改修に伴う普通建設事業費は増加しますが、公債費(借金返済額)減少などにより、予算総額は前年度と比較して0.7%の減となりました。しかしながら、予算総額は減少したものの、財源不足に対応するため、財政調整基金をはじめとして約3億8,100万円を町の基金(貯金)から取崩すこととなります。

厳しい財政状況のなかであって、地域医療体制の維持・強化のために進めてきた深浦診療所がようやく完成し、6月に開業する予定となっています。また、隣接地に、健康増進を目的とした地域包括ケアセンターの建設に今年度着手するなど、町民の皆さんの暮らしの安全・安心を確保するため、地域福祉の充実に努めてまいります。

今後も「深浦町第二次総合計画」「深浦町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を基本としながら、魅力あふれる深浦町を創生するため、行財政改革を推進しながら、一体的に取り組んでまいります。

●歳入●

町が独自に調達できる自主財源が歳入全体の17.0%しかなく、地方交付税をはじめ国や県の施策の動向に大きく左右される依存財源が大部分を占める歳入構造となっています。

●歳出●

義務的経費が全体の38.3%となっており、なかでも公債費が15.2%を占め、借金の返済に係る負担が重いことがわかります。また、公共施設の整備や改修などの普通建設事業費も18.1%と大きな割合を占める歳出構造となっています。

●基金と町債●

平成30年度末残高見込みにおいて、基金(貯金)は約29億8,800万円ですが、町債(借金)の残高は一般会計で約92億200万円と基金の約3倍となっています。